

調布市立深大寺小学校の食育

基本理念 子供たちの健やかな成長と生涯にわたる健康の保持増進。そして、これから7万回食べる食事を楽しむことで、豊かな人生を笑顔で過ごすことができるようになることを願う。

給食の時間編 給食は楽しく食べて学べる食育の授業時間です 話食を目指して！（話食・・・食について先生と子供と保護者が話す）

その1 夢ワゴンカードの投影

先生が教室で、栄養士からの情報（夢ワゴンカード）を投影し、読みます。カードには、食育の6つの視点から、その日の献立に合わせて焦点化した話が書かれています。



その2 マナー指導

デートのとき相手のマナーが気になる83%というデータもあり、子供たちの明るい将来のために、箸や茶碗の持ち方など指導しています。



その3 パシャパシャタイム・偏食等個別指導

大人が映える写真を撮るように、タブレットで給食の食前食後の写真を撮ってお家で食トークをします。偏食など食に関して心配なことがある保護者の方と個別面談のきっかけにもなります。



その4 オリパラ・ゲゲゲ忌等トピック給食

オリンピックではギリシャ料理、調布市の名誉市民の水木しげるさんのゲゲゲ忌ではゲゲゲ給食献立。栄養士は鬼太郎になって教室を回ります。



その5 魚苦手克服大作戦（骨骨コンテスト）

骨付き魚の時には、きれいに食べて校長室前の骨の絵にシールを貼ります。食べた後の骨は写真付きで紹介されます。

その6 給食作文・食に関する標語コンテストに応募

全国のコンテストにみんなで応募します。副賞で学校にいただいた図書券で、図書室に食育の本がそろっています。



その7 野菜嫌い克服大作戦

校長や教員が野菜の着ぐるみで教室を回ります。低学年の教室で着ぐるみが「僕を嫌わないで！」と言うと「頑張って食べたよ！」と笑顔で空っぽになったらお皿を見せてくれます。



その8 シェフズランチ

地元農家さんが育てた新鮮野菜を、和食料亭のシェフが監修して給食で提供。地産地消の取り組みの一つです。



その9 チーム食育推進委員会

校務分掌に食育推進チームがあります。ここでは毎月各学年の課題や取り組み状況を話し合っています。



その10 給食キャラクターコンテスト

食育推進委員会のイベントの一つ。子供たちから募集し、表彰したり、食育便りに掲載したりします。



新米君 パリパリサラダッチ

その11 NTT東日本・調布市連携事業参加

給食の調理野菜くずなど残渣をバイオマスプラントで燃料と料を抽出し、最先端遠隔操作トマトハウスの温度管理に使用します。できたトマトが給食にでます。トマト担々麺は大好評です。



教育活動編

その11 深大寺そば学習

昭和63年から始まりました。深大寺そば組合の皆様と神代植物公園の皆様のご協力で、畑づくり・種まき・雑草取り・刈り取り・脱穀・石臼引き・手打ち・実食と経験します。その間、深大寺そばの歴史・食文化・栄養など様々な観点で調べまとめます。深大寺に育つ子供たちの郷土愛と誇りをはぐくむ体験学習になっています。



その12 米作り大作戦

学校の前にある神代水生植物園の田んぼをお借りして、田植え、稲刈り、脱穀などを経て、できたお米は一部給食でも食べます。地元の皆様のご協力で貴重な体験ができます。



その13 御神楽

本校の伝統の一つ。昭和63年から続く、御神楽は、手に持つ扇が稲穂、錫杖がカマで、稲作を表しているといわれています。6年生の師匠が5年生の弟子に踊り以前の礼儀や感謝の気持ちの表し方からを指導してくれます。卒業前に6年生が書き記して5年生の弟子に渡す御神楽秘伝の書には、人としての在り方も書かれています。



※これらの他にも、献立に合う米を毎回選択する・食育 YOUTUBE 動画作成・「給食ブログ」コンテストなど、様々な楽しい取り組みをしています。

子供たちの人生が**健康**で**楽しい**ものになるように、本校では**食育**にも力を入れているのです。

